

## 福岡県立社会教育総合センター

## 令和6年度

若年教員対象体験活動  
指導者研修対象：福岡教育事務所管内の小学校・中学校・  
義務教育学校教員

日時：令和6年8月1日(木)～2日(金) 2日間

## 趣旨

小学校・中学校の若年教員が、集団づくりに役立つレクリエーションや自然体験活動等の指導に関する基本的な知識や技能を習得し、教員としての見識を広げ、及び若年教員同士の連帯感の高揚を図る。

## プログラム

8月1日 (木)	8:40～ 受付	9:00～ 開会行事	9:10～ 【講話】 宿泊研修の企画立案と野 外活動の安全管理	10:20～ 【演習1】 防災研修 HUGを使った避難 所生活の想定	12:00～ 昼食	13:00～ 【演習2】 集団づくりに役立つ レクリエーションⅠ	16:20～ 振り返り
8月2日 (金)		9:00～	【演習3】 集団づくりに役立つレクリエーションⅡ	10:30～ 【演習4】 キャンプ飯作り・防災食作り		13:00～ 振り返り	14:00～ 閉会行事

## 【講話】

「宿泊研修の企画立案と野外活動の安全管理」では、体験活動の教育的意義について学び、実際に児童生徒の宿泊研修を企画する場合のポイントや野外活動の安全管理について、KYT（危険予知トレーニング）等を行いました。



## 【演習1】

「防災研修」では、HUGを使った避難所生活の想定として、5人～6人グループに分かれ、災害時を想定し、学校の体育館を仮設の避難所としたときに様々な人が避難してくることを想定し、配置や物資の保管場所、トイレや仮設のお風呂、洗濯機の配置などの場面を想定して演習を行った。演習の中で定期的に他の班の様子を見学し、交流も深まった。



## 【演習2、3】

「集団づくりに役立つレクリエーション」では、チームビルディングの考え方や関係を築くレクリエーションについて知ってもらうことを目的として、学級で役立つレクリエーション等を学びました。参加者同士の交流も深まりました。



## 【演習4】

「防災食・キャンプ飯作り」では、災害時を想定し、少ない水を使って湯煎で調理を行いました。アイラップを使用してごはんとかレーを作りました。初めて湯煎調理をした方がほとんどでしたので簡単で美味しい防災食・キャンプ飯はととても好評でした。



## 参加者の声

○自分で体験することと理論とが結びつけられていることで、確かな学びになったと感じました。また、この体験と人とのつながりが体験活動の強みだと思うのでこれからの学習活動に学んだことを存分に活かしていきたいです。

○普段かわりが少ない先生方と交流できたのもよかったです。また機会があれば参加したいです。

○学校でも子どもとやってみたいと思うことを学べたのももちろん、何より気軽に話ができる先生がたくさん作れて嬉しかったです。

○普段体験できないことにチャレンジできた2日間でした。教員という同じ仕事をしている方々と一緒に活動できて改めてこの職業を選んでよかったと思いました。子どもたちの笑顔のために今後も頑張りたいと思いました。

